

3. モデリングの基本ルール

3. モデリングの基本ルール

3.1. 層のルール

(1) 層の定義と区分

1) 層の定義

- ・層の定義は意匠階高と梁天端レベルにより定義します。
- ・意匠図に即した階を入力することで、midas Drawing を利用する際に正確な軸組図を生成できます。

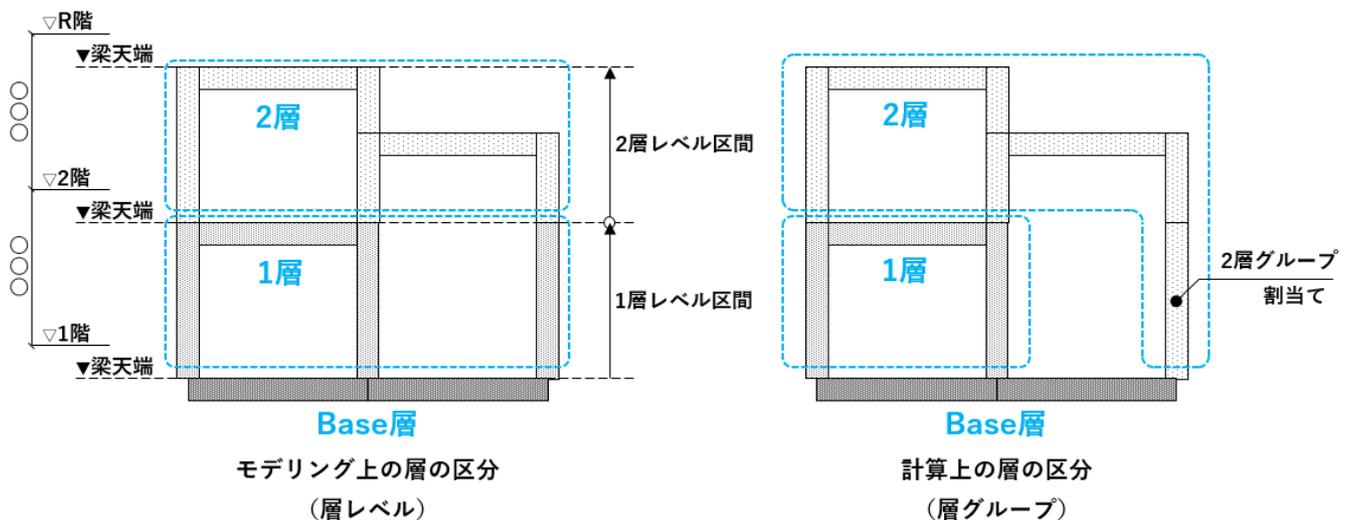
2) モデリング上の層の区分

- ・梁天端を基準としたレベル区間で層が区分されます。
- ・基準とする階から立ち上がる鉛直部材とその上部に取りつく水平部材を1つの層として扱います。
- ・層ごとに定義される材料や荷重はこの区分で適用されます。

3) 計算上の層の区分

層に関連した計算は部材ごとに定義された層グループごとに計算されます。

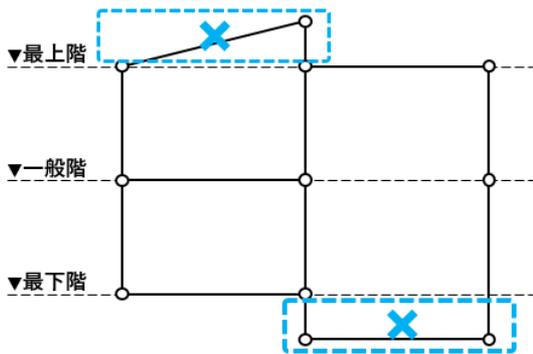
- ・層グループは部材ごとに任意に指定できます。
 - ✓ 柱量と壁量計算
 - ✓ 層の重量と地震荷重
 - ✓ 層間変形角や剛性率、層間変形角
 - ✓ 保有水平耐力と必要保有水平耐力



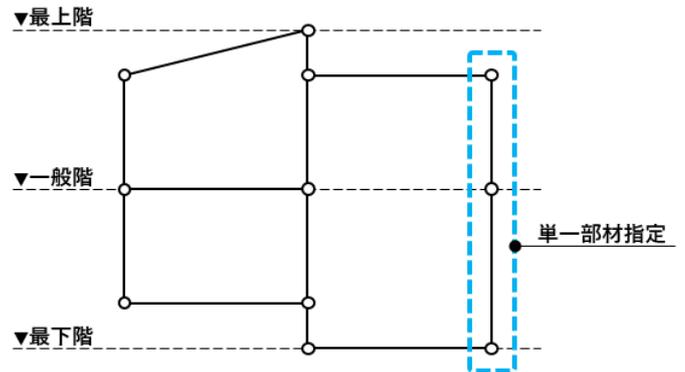
3. モデリングの基本ルール

(2) モデリングの範囲と部材の分割

- ・ 層情報で定義された、最下階と最上階の区間にのみ部材を配置することができます。
- ・ 階をまたがり配置されたブレース以外の部材は梁天端レベルで分割されます。
- ・ 分割された部材を1つの部材として設計する場合は単一部材を指定します。



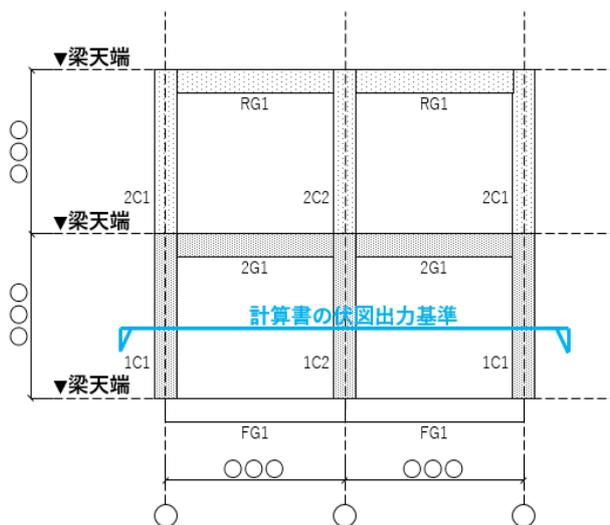
モデリングの範囲



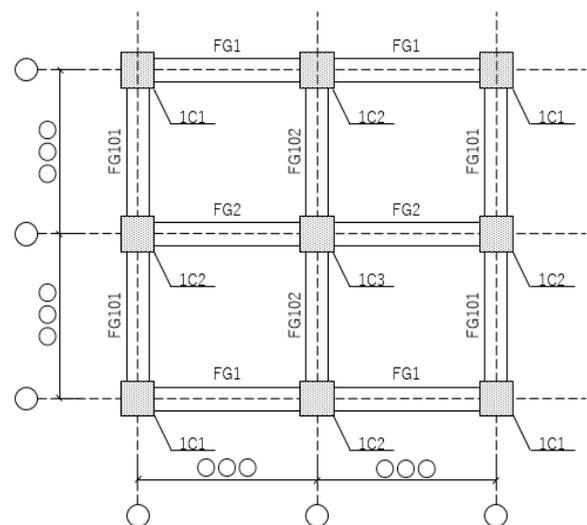
部材の分割と単一部材指定

(3) 計算書への層の出力方法

- ・ 計算書の伏図へ出力する層の区分は基準とする階の水平部材とその上部に取りつく鉛直部材を出力します。
- ・ 計算書の軸組図へ出力する階の高さ寸法は梁天端基準で出力します。



計算書の軸組図



計算書の伏図